

伊勢湾貧酸素情報（第 3 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

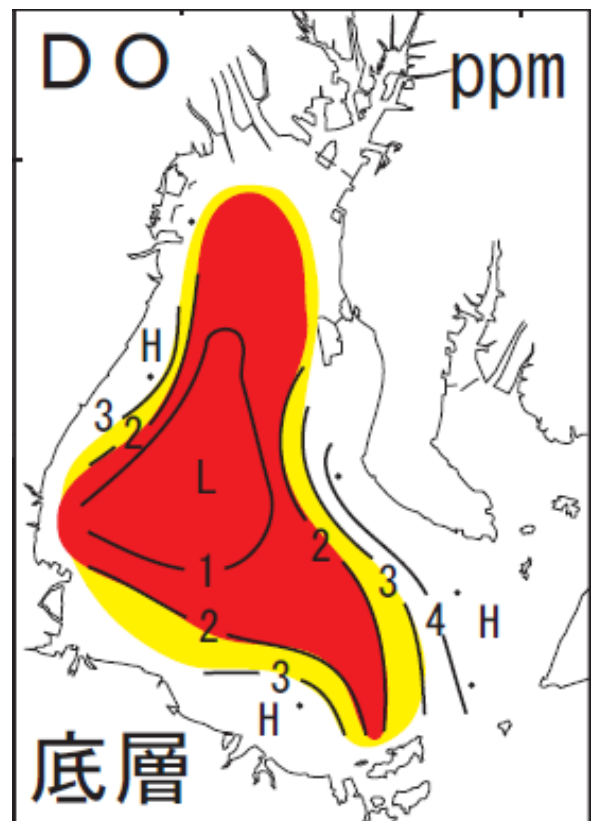
8 月 1 0 日の調査結果

8 月 10 日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 26.5～30.3℃、10m で 24.1～26.9℃、底層で 18.8～24.7℃の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや高め、10m では高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.0～12.0ppm、10m で 3.6～6.4ppm、底層で 0.7～4.4ppm の範囲にあり、表層は平年より高め、10m と底層では平年並となっていました。

底層では広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されており、先月の観測時より 2ppm 以下の水域が拡大していました。

この時期は表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図